



四万十つるの里づくりの会 平成29年度取り組みダイジェスト

平成29年

年間を通じて

江ノ村箇所でのツルのえさ場・ねぐらづくり

【実施内容】セブン-イレブン記念財団の助成金で江ノ村箇所の休耕地を借り上げ、地元で農業を営む会員に稲作を行ってもらい、収穫後にツル類の餌となる二番穂を残しました。

イネの育成状況(6月)→



6月

夏の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成29年6月29日(木) 10:00~11:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校

参加者 ■ 約50名(東中筋中学校1年生・東中筋小学校6年生計33名、その他スタッフ等)

共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】子どもたちに、ツル類の生態や四万十市への飛来状況、越冬地整備の実施状況等について説明しました。予定していた国土交通省が整備したえさ場での田植えは、雨のため中止しました。



ツル類に関する講義

6~7月

中山箇所でのツルのえさ場・ねぐらづくり

【実施内容】6月27日に、国土交通省が中筋川中山箇所に整備したえさ場に、稲作を行う会員の協力を得て田植機でイネを植えました。また、子どもたちが自然体験学習会で植える予定だった場所については、7月4日に有志で手植えました。



会員等による田植え(7月4日)

10月

平成29年度総会

日時 ■ 平成29年10月3日(火) 16:30~17:30

場所 ■ 四万十市立文化センター 中会議室

参加者 ■ 21名

【実施内容】これまでの事業成果と飛来状況調査の結果を振り返り、見えてきた課題について議論し、「ツルのえさ場・ねぐらづくり」・「ツルの自然体験学習会」・「四万十つるの里祭り」・「飛来状況調査」の基本4事業を継続するとともに、当会が今後どのように取り組んでいくか、短期・長期の計画を検討していくことが決まりました。

ツルの飛来状況調査

期間 ■ 平成29年10月下旬~平成30年2月

【実施内容】高知野鳥の会や日本野鳥の会高知支部等と連携し、四万十市内に飛来するツル類の種類・羽数、飛来場所を記録しました。毎日、夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所(えさ場)と羽数を確認しました。日中にえさ場を飛び立った際には、過去にツル類が利用したことのある場所を探索し、夕暮れ時にはねぐらに戻ってくるかも確認しました。

【調査結果概要】

- 平成29年度のツル類の地上での初確認は、例年(10月下旬)よりも遅く、11月18日でした。総飛来日数は89日。日最大確認数は5羽で、この5羽が越冬しました。四万十市でのツル類の越冬は4年ぶりとなります。
- 越冬した5羽は3羽と2羽に分かれて行動しており、3羽の中には珍しいナベクロヅル(ナベヅルとクロヅルの雑種)が含まれていました。
- ツル類は、四万十川の砂州の中でも、陸からの外敵襲来の可能性が低い場所をねぐらとして選んでいました。主要なえさ場は中筋川沿いの広い水田地帯で、主に二番穂を食べていました。えさ場やねぐらでは、3羽が2羽を追い出すなど縄張り争いの様子がみられました。
- 人や車などの接近には警戒しましたが、飛来後期には慣れた様子も確認されました。



↑えさ場での3羽(中央がナベクロヅル)

採餌中の2羽→



↑ねぐらとして利用した砂州の一つ。陸地との間に水路がある

平成29年度は地域の方々の協力、セブン-イレブン記念財団や四国クリエイティブ協会からの助成を得て、以下のような活動を行いました。また、「四万十川自然再生事業」に取り組んでいる国土交通省とも連携しながら取り組みました。



各取り組みをお伝えするホームページのアドレスが変わりました!

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>



11月

秋の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成29年11月7日(月) 10:00~12:00

場所 ■ 江ノ村箇所、中筋川中山箇所

参加者 ■ 約50名(東中筋中学校1年生・東中筋小学校6年生計33名、その他スタッフ等)

共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

【実施内容】江ノ村箇所では、二番穂が実る現在の田んぼの風景ができるまでを説明し、子どもたちに「デコイ」(ツルを呼び寄せるための模型)の設置を手伝ってもらいました。また、水田脇の用水路で生き物調査を行い、用水路が中筋川に流れ込む樋門の段差をなくし、ツル類の餌となる小魚等が上れるようにした国土交通省の「四万十川自然再生事業」の効果を確認しました。平成25年度にマナヅルが越冬した中山箇所では、官民協働によるツル類の越冬環境づくりについて説明しました。



←デコイの設置
↓用水路の生き物調査



12月

第9回四万十つるの里祭り

日時 ■ 平成29年12月2日(土) 10:00~14:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校

来場者 ■ 約1,000人

後援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会

協賛 ■ (一社)四国クリエイティブ協会

【実施内容】学び、味わい、楽しめるイベントを通じて、来場者に「ツルの里づくり」に親しんで頂きました。パネル展では、中学生が自然体験学習会で学んだ成果を壁新聞にして披露してくれました。



ツル食堂(飲食物販売コーナー)



ダンスパフォーマンス



ツル類の写真・パネル展示



わたがし作り体験

平成30年

2月

第1回四国圏域生態系ネットワーク推進協議会に委員として参加

日時 ■ 平成30年2月5日(月) 14:00~16:00

場所 ■ サンポート高松合同庁舎 13階会議室(香川県高松市)

参加者 ■ 26名

主催 ■ 国土交通省四国地方整備局

【実施内容】四国では、近年、生態系の最上位に位置し、地域の自然環境の豊かさを示す存在であるコウノトリやナベヅル・マナヅル等の飛来が多く見られるようになりました。このコウノトリ・ツル類を広域指標種とし、効果的な情報発信と持続的な発展、多様な主体との連携・協働による経済の活性化につながる総合的な取り組みの推進を図ることを目的とした協議会が設立され、当会事務局長も委員として参加することになりました。協議会には、学識者、飛来自治体の首長をはじめとする各行政機関、日本野鳥の会、観光関係者など多様な主体が参加しています。



会報で取り組みを発信! 四万十つるだより Vol.23 (H30.1.26発行)

- 地域の回覧や行事等で配布し、当会の活動を紹介しています。
- 本号では「四万十つるの里祭り」を特集しました。また、当会と協働して「ツルの里づくり」に取り組んでいる国土交通省中村河川国道事務所による中筋川での湿地再生について紹介しました。